

プログラミング教育充実へ協定 八代市など

八代市と熊本高専、宮嶋利治学術財団（同市）は5日、市内の小中学校で実施するプログラミング教育の充実などに取り組む連携協定を結んだ。

プログラミング教育は2020年度から小学校、21年度から中学校で本格導入される。高専は、専門性を生か

し指導計画への助言や教員への研修などを行う。財団は、9年前から開く子ども向けのロボット教室で培ったノウハウや教材を提供する。

八代市役所鏡支所であった調印式には、高専の荒木啓二郎校長、財団の村山忍理事長らが出席。中村博生市長は「質の高い教育が実践できると期待している」とあいさつした。

（中村悠）



プログラミング教育に関する協定を結んだ
（左から）荒木啓二郎・熊本高専校長、中村博生・八代市長、村山忍・宮嶋利治学術財団理事長＝八代市